

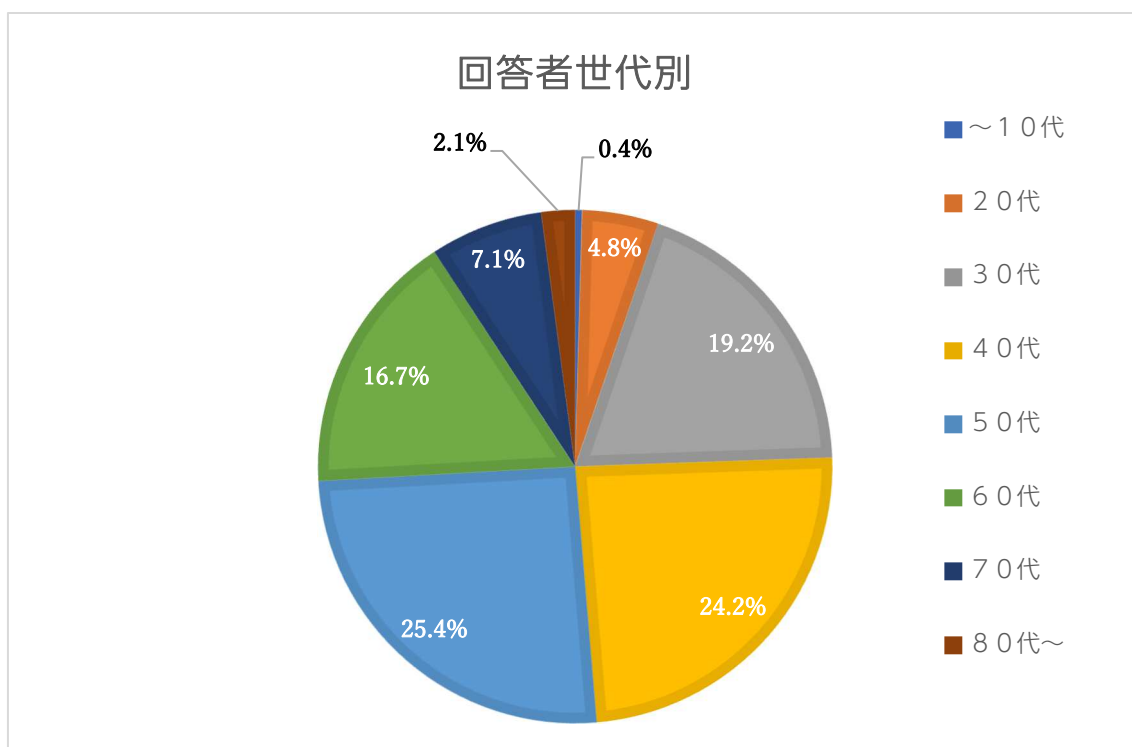
第8回 農務課

「食育について」

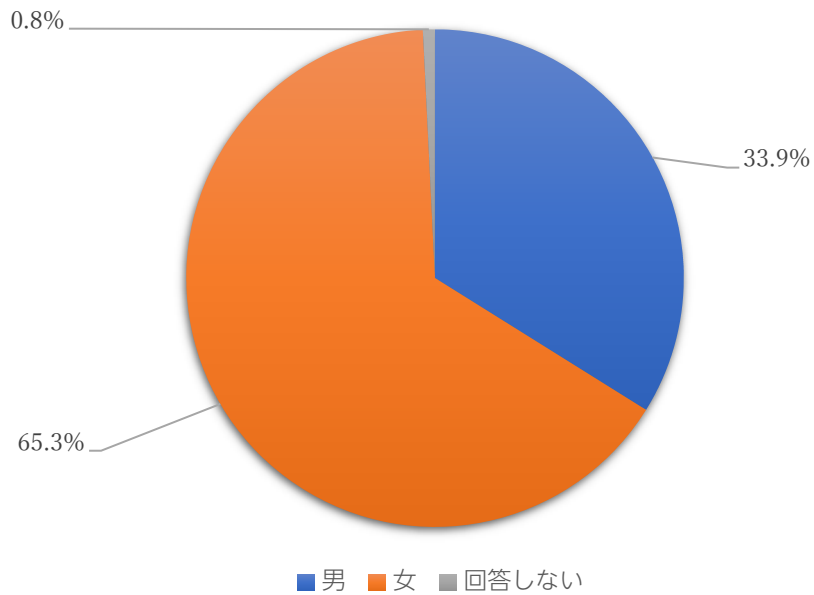
「食育」とは様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。生きる上での基本であり、知育・徳育・体育の基礎となります。

本市は、第3次安城市食料・農業・交流基本計画を推進しています。本アンケートの結果は、本計画の進捗状況を把握し、今後の計画推進の参考とするために活用し、より一層食育推進が進むよう取り組んでまいります。

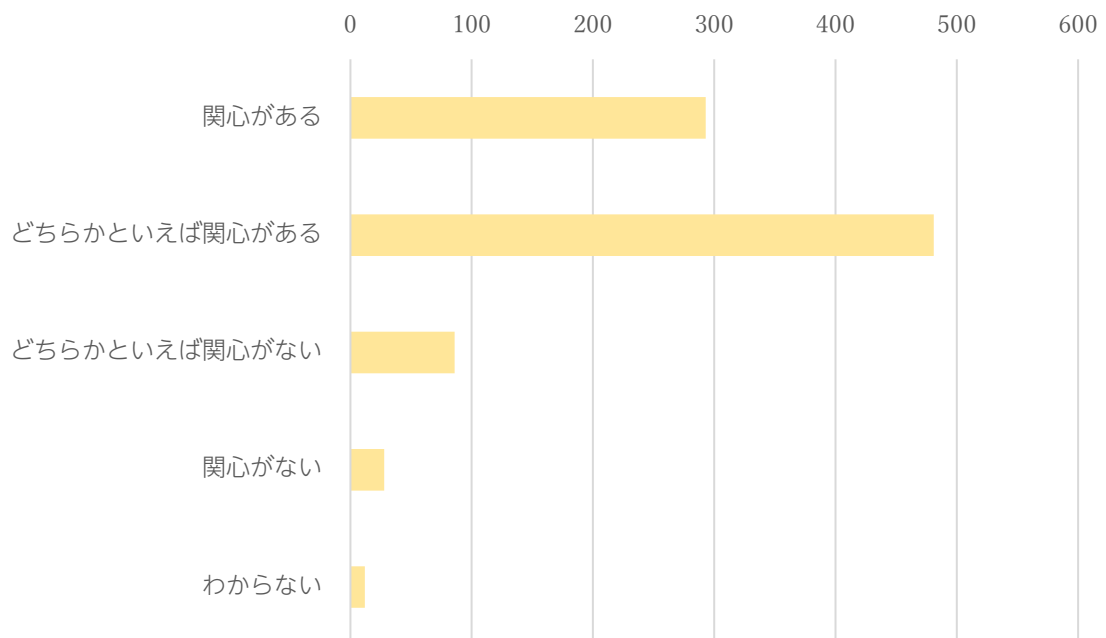
実施期間 令和7年11月4日（火）～11日（火）

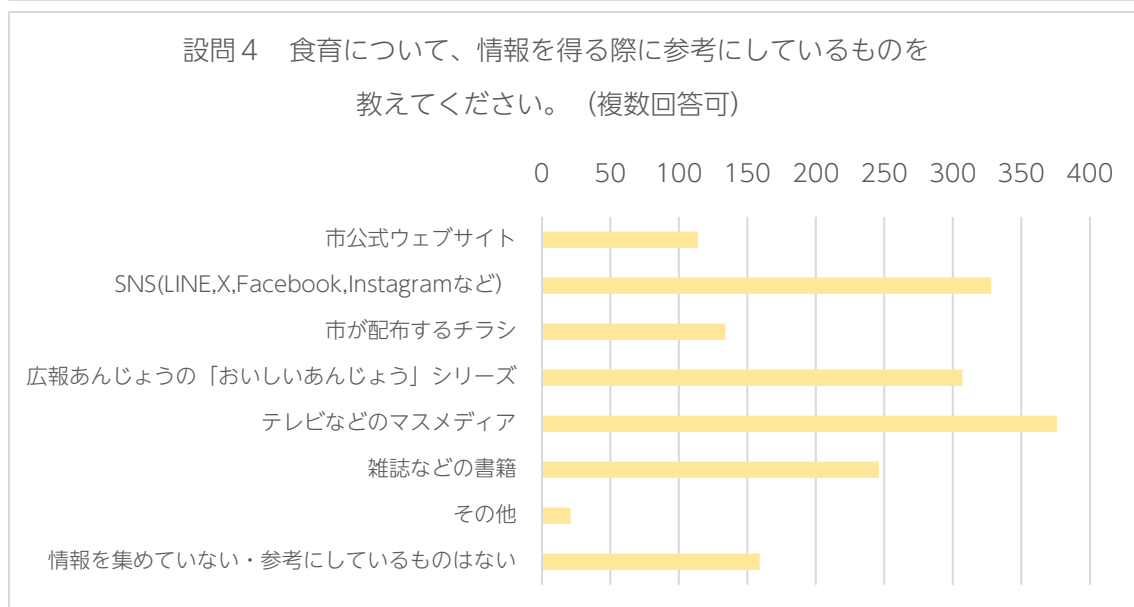
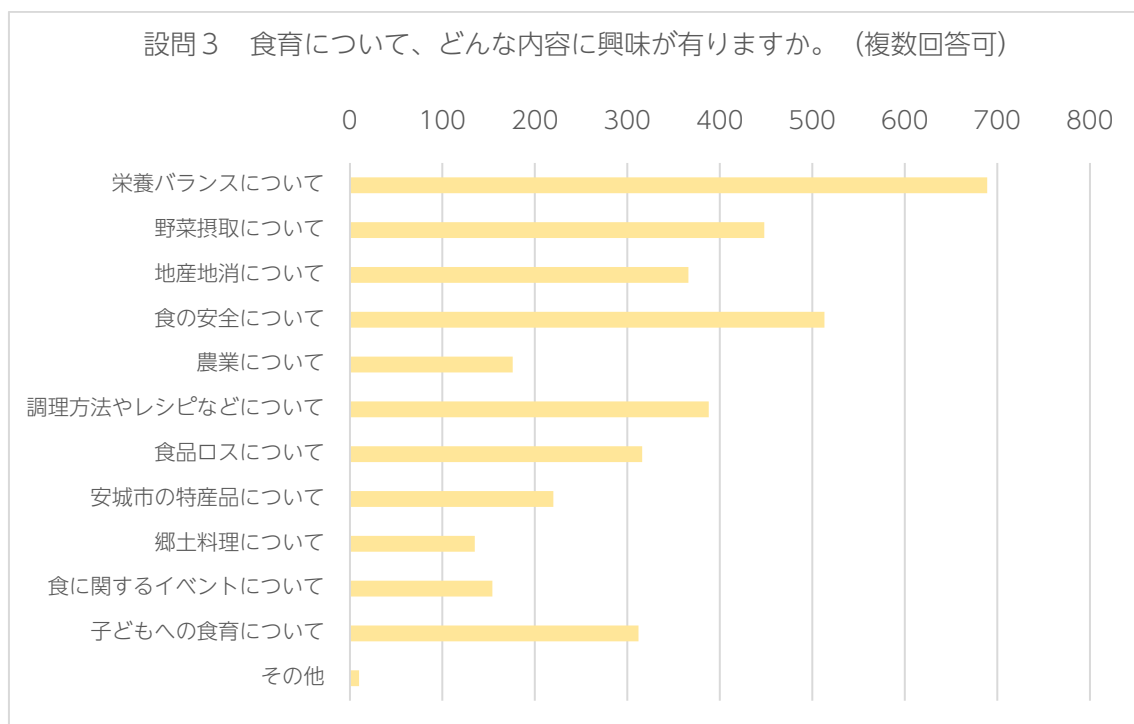


設問1 性別を教えてください。



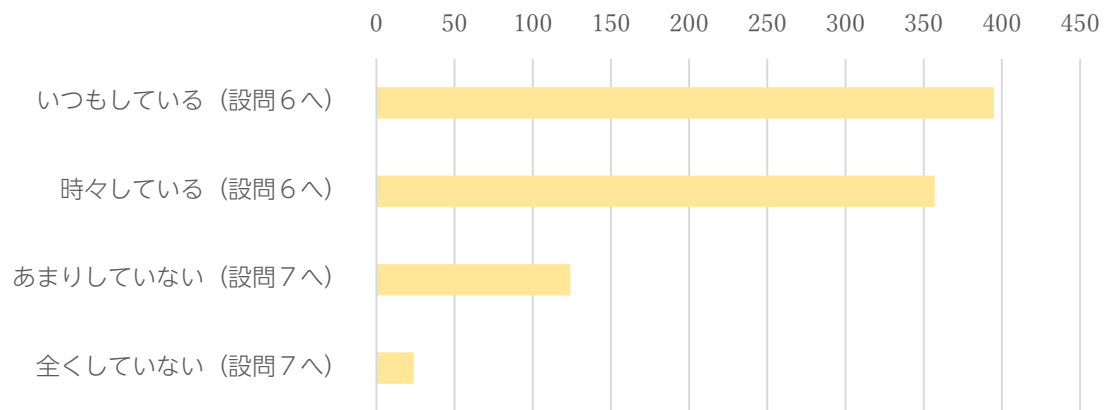
設問2 食育に関心がありますか。



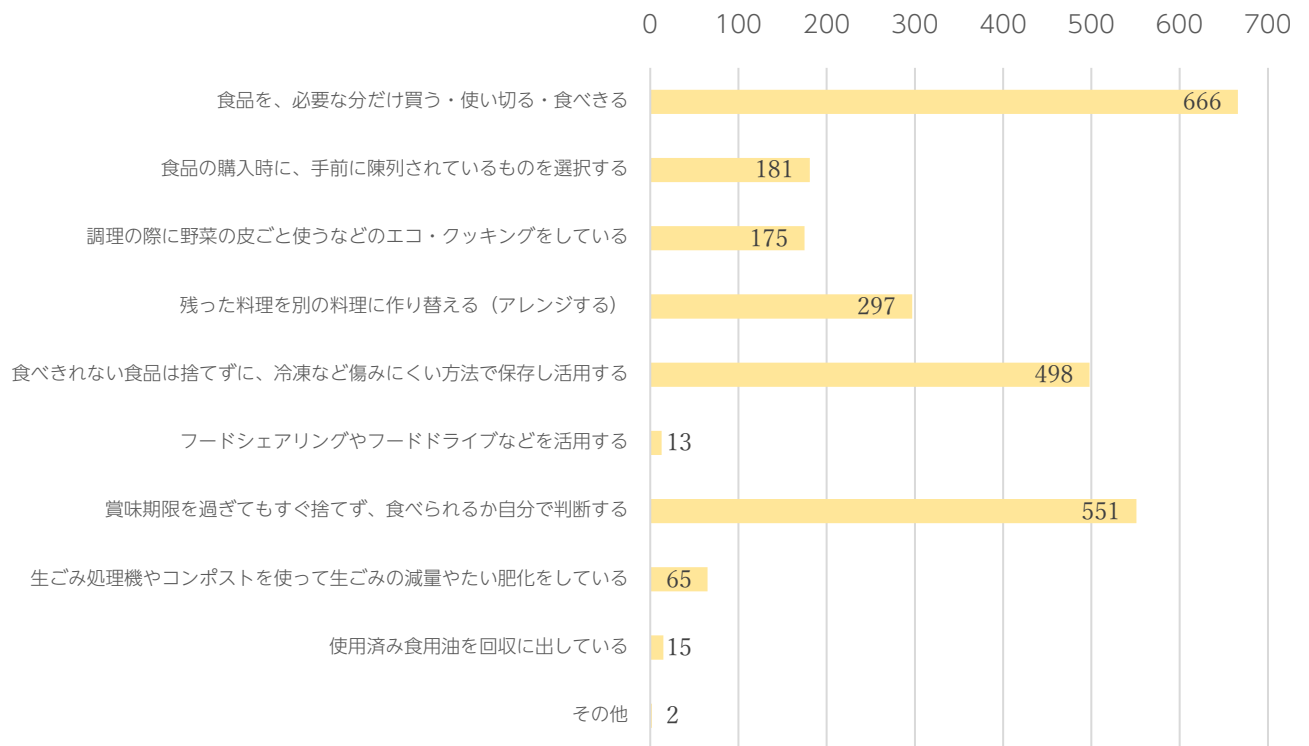


設問4で「その他」を選択された場合	
口コミ、確かなコミュニティ（日本食育協会等）	食育を進めたい近所の方が開催する、お話会に参加して
家族との会話	講演会、論文や専門会の意見
食育協会の情報	web 検索
TikTok、YouTube、ネット等	小学校の保健だより等の配布物
ニュース記事など	スーパーマーケットなどの店頭
知り合い、友達、親族から。	新聞
レシピアプリ、レシピサイト	農協からの情報

設問5 ご家庭で食品ロスや食品廃棄物を減らす
取り組みをしていますか。



設問6 前問で「いつもしている」「時々している」と回答した方にお聞きします。
どのようなことに取り組んでいますか。(複数回答可)

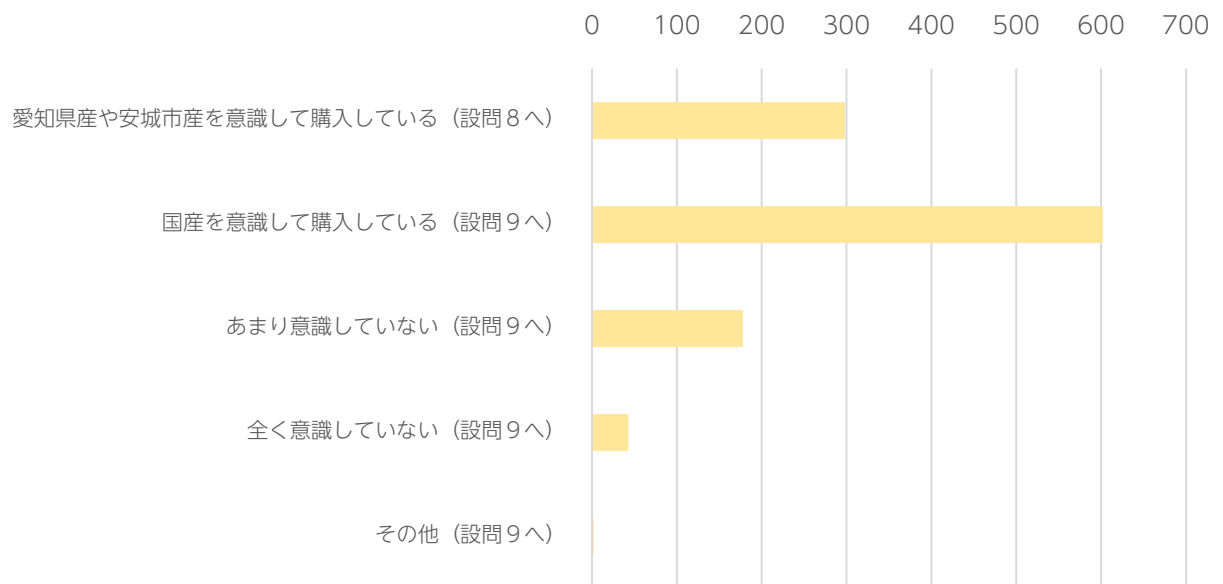


設問6で「その他」を選択された場合

値段の下がった商品を購入する

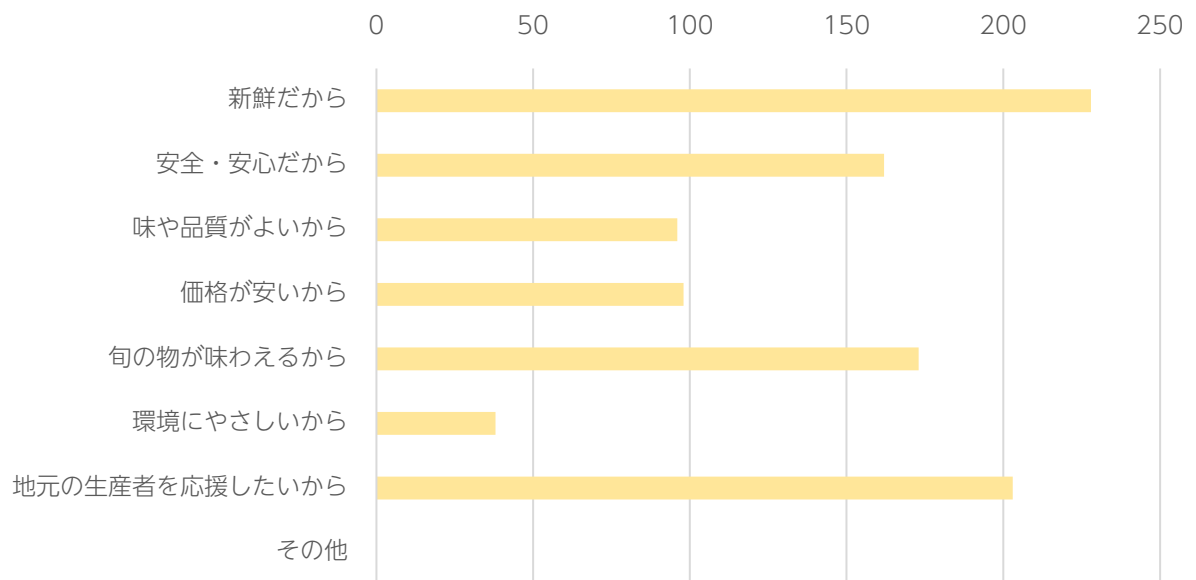
見切り品を買う

設問7 食品の産地を意識して購入していますか。（複数回答可）



設問8 設問7で、「愛知県産や安城市産を意識して購入している」と回答した方にお聞きます。

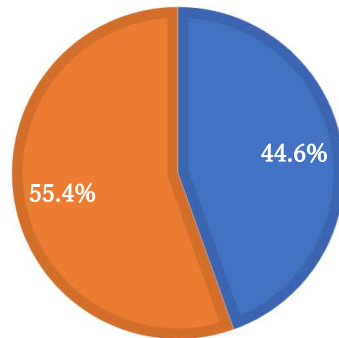
あなたが地元農産物を購入する理由は何ですか。（複数回答可）



設問 9 安城市の郷土料理として、思い浮かぶものがありますか。

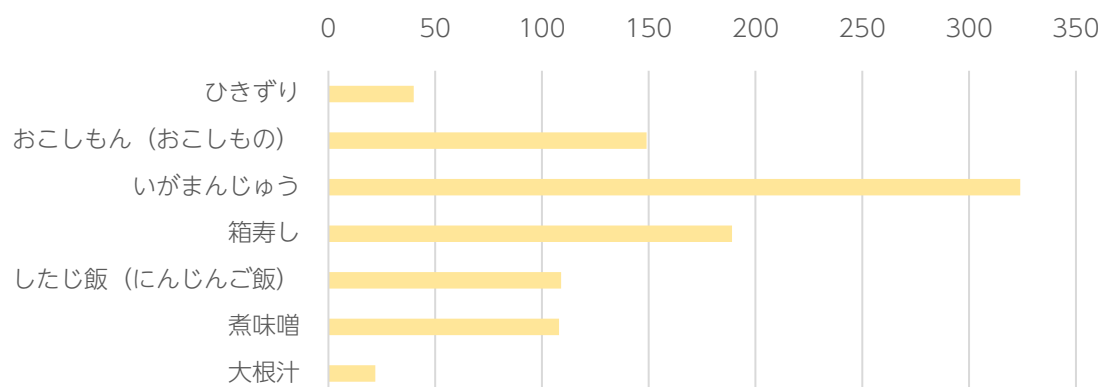
※安城市の郷土料理とは、愛知県内でも西三河を中心に食べられている郷土料理も含みます。

■ ある（設問 10 へ） ■ ない（設問 11 へ）



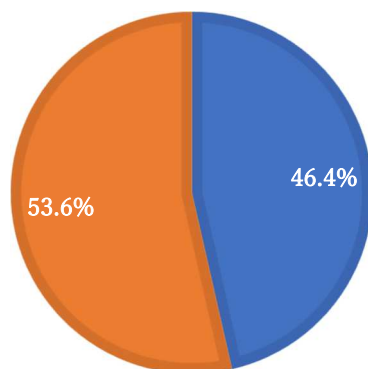
設問 10 設問 9 で、「ある」と回答した方にお聞きします。

具体的な料理を教えてください。（複数回答可）



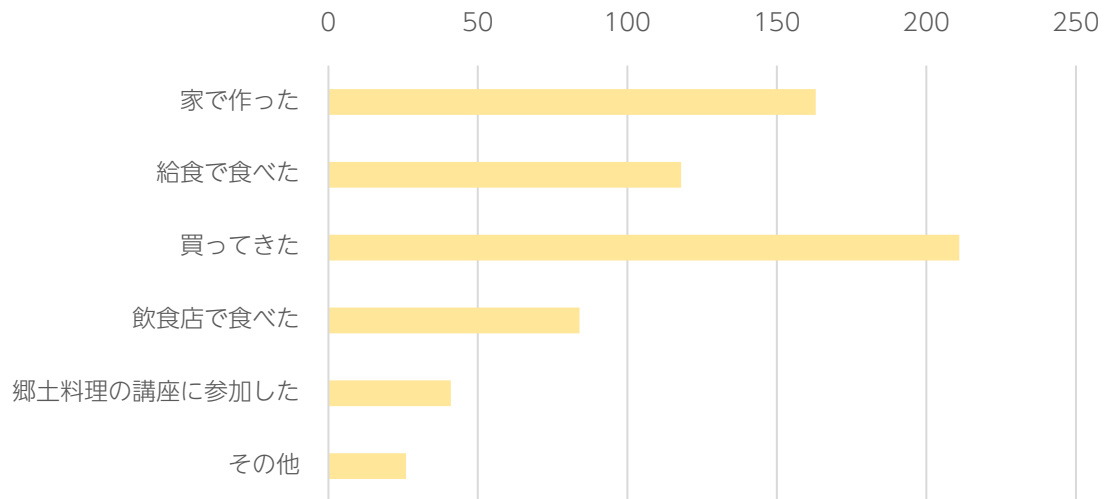
設問 11 安城の郷土料理を食べたことがありますか。

■ ある（設問 12 へ） ■ ない（設問 13 へ）



設問１２ 設問１２で、「ある」と回答した方にお聞きます。

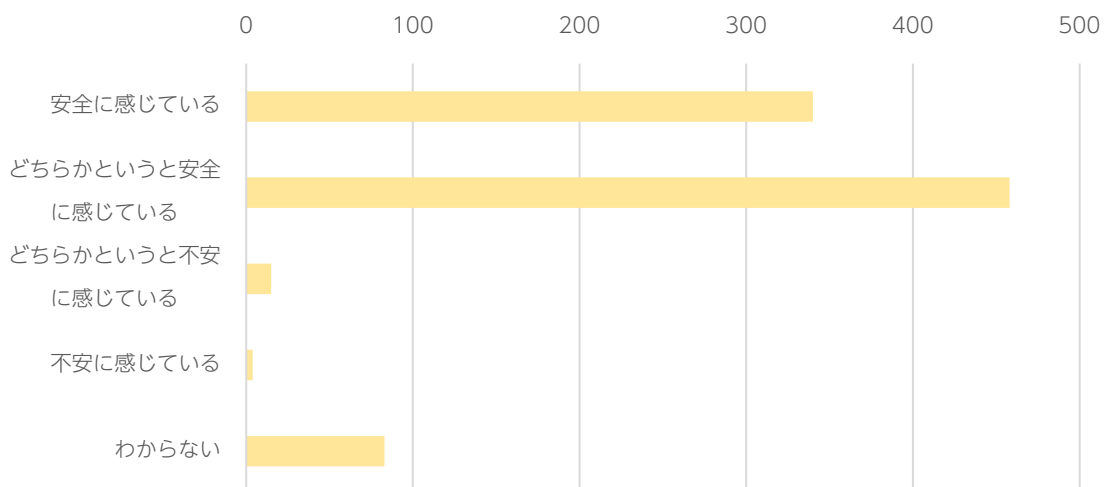
どんな場面で食べましたか。（複数回答可）



設問１２で「その他」を選択された場合

昔実家で作っていた	実家で母親の手料理で食べた
主人の実家で義母が作ってくれた	親族が作ってくれた
知人宅での集まり	幼い頃、祖母の家でお祭りのとき、祖父母の家
友人にいただいて職場で食べました。	小学校の時に家庭科の授業で食べた
手土産	料理教室
近所の人からのお裾分け。	勤め先の賄い
町内の集会や法事	娘の家にお祝いで行ったら、お返しにはこ寿司をいただいた

設問１３ 地元農産物（安城市産や愛知県産）の安全性についてどのように感じていますか。



設問１４ 食育について、ご意見・ご要望がありましたら自由に記入してください。
昔は給食やイベントで郷土料理に触れる機会があったけれど、段々触れる機会が減っている気がするので安城マルシェなどのイベントでふるまうのはどうか。
安城市の郷土料理に子供たちが親しめるように授業や給食、レシピ公開等で積極的に取り組んで欲しい。
色や形など、見た目が悪くても食べられる野菜などを通常より少し安く買える場所があれば買いに行きたいと思う。（小牧にある「ベジブル」のような感じのお店）
米の値段が上がったりしたことから少しでも食品自給率につながるといいなと思い、国産のものを進んで選ぶようになった。日本の中で作られて、日本で消費するものが増えていくといいと思う。安城の郷土料理だが、安城生まれ安城育ちなのできっと給食で食べたことあるかもしれないが、それを郷土料理と認識していなかった。
なかなか郷土料理を口にする機会が減っている。授業・講座・給食・レシピなどで郷土料理をもっと宣伝してほしい。
輸入野菜（大豆、小麦、トウモロコシ）の安全性について正確に広報してほしい。 ポストハーベスト、除草剤、遺伝子組み換えなど輸入食品は安全か？
食品ロスについて、一人一人が食品ロスを意識することにより、全国で、愛知県で、安城市で、どれだけの費用が削減できるかを具体的な数値を示して広報していくと、もう少し意識付けできるのではないかなと思う。
意外と安城市の特産品について把握されていないため、広報などで特集してほしい。またアンフォーレなどで市特産品のイベントを実地してほしい。
食事は心身ともに影響があるので、出来るだけ農薬や化学肥料でないほうが良い。安城の産直などでオーガニックや有機栽培の物を探しても見つからず、他市に購入しに行く。できれば地産地消の物を購入したいが、無農薬のものを購入したい。また、市民に添加物の危険性を周知させてほしい。
命を授かり育てていくために食の知識が得られる場が少ないように思う。食べ物で体は作られ、健康でいるからこそ、やりたいことができ、人生をより豊かにする。だからこそ食の選び方を真剣に考える場があるといいし、食の選び方が知れる場があるからこそ地域への社会貢献や、病気（生活習慣病）を減らすことにもつながっていくのではと思う。健幸あんじょうのために食ができることを地域の皆さんとともに学んでいけたらと思う。
これからの時代、食料自給率を上げることが大切だと思うので、農作物が楽に作れるようなことを研究して、若い人が農業をしていけるように考えていかないといけないと思う。田んぼや畑が目に見えるところにあると、食品ロスなどもへるし、安心安全なものを食べられて、とてもよいと思う。
和泉そうめんが好きで毎年各店のそうめんを食べている。和泉町内会ではそうめんスタンプラリーなど楽しみながら知って貰う機会を作っているそう。しかし、毎回郷土料理としてアンケートに出てくることはないため、市としてももっと広まるように企画して欲しい。
学校などで食育に関する教育があるといいなと思う。また、食育の定義がわからないので、もっとわかりやすく宣伝するのが良いと思う。

私は食育に力を入れている小学校に通っていたが、記憶に残っているのは魚を使ったレシピを調べて発表したことくらい。子供には難しいことなので、食育は伝え方が大切のように感じる。
栄養等をきちんと食品で摂取しなくてもサプリメントで補えば良いと考えている人も数多くいる。いつもではなくても 時々そのようにする場合もあるようだ。食品で直接摂取するのとサプリメントとの違いについて、その情報を供給してほしい。
食育は高齢者にとっても非常に大切だと感じており、自炊は認知症予防や地域とのコミュニケーションになるそう。
広報あんじょうの講座に親子で参加したことがあり、とても良かったが、抽選で落ちてしまうことが多いので、もっとイベントを増やして欲しい。子どもの食育にとっても役立つと思う。
子供も大人も朝食は摂取した方が良い。また、バランスよく食べるように育てるといいと思う。
子どもには、食事を大切にする大人になって欲しいと心から思っている。広報などを見たり、地域の食に関するイベントには意識して参加している。
食品の物価高に少しでも安い物をとっている。形やキズがある物でも積極的に買いたいとは思っている。
食品ロスについて、作りすぎない、買いすぎないように意識改革が必要。中国産は、あまり買おうと思わない。
地元の旬の野菜、路地野菜を出来るだけ使うようにしている。
新鮮な旬のものが入手困難な状況だと思われる。安全のため、食品は自分で管理して下処理などして保存し使用するように心がけている。肉類は可能な限りトレーサビリティを考慮している。
地元産の食材は使うようにしている。市民向けに地産食材を買うと特典があればよいと思う。
SNSなどをみていると食に関して根拠のない情報や見かけることがある。若い人が目にすることで正しい知識を得られる機会があればと思う。
安城広報のレシピ参考にしている。お弁当にも活用出来るレシピや、小さい子供の好むものが少ないので、子供も食べやすいおやつなども紹介してほしい。
野菜の産地だから、身近に生産者を感じられるのが子どもの食育の取っては良いと思う。
給食で安城産の野菜や郷土料理などが出たときは話してくれる。給食での取り組みはとても良いと思う。
食育については特別関心があるわけではないけれど、定期的に届く広報は一番目に入る情報誌のため読んでいる。高齢者は情報を得るには広報誌が一番なので充実した内容であってほしいが、若い世代はネットの方が目にしやすいと思うので、両方うまく使って自然に情報が目に入るようにいていただくと良いかと思う。
国産は信用性があり、少し値段が高くても購入するようにしている。
生ごみの堆肥化は、ごみ減量のみならず二酸化炭素の排出の抑制、循環型体系の持続など食育にも大事な分野になると思う。家庭からでる生ごみを堆肥化するしくみを広く推し進めていただくことを願っている。
学校での食育の授業をもっと増やして子供の頃から身近に感じられるようになると良いと思う。国産の安心安全についてももっとアピールしていただきたい。
頂き物で食べないもの、余った食品があればファミリーマートのフードドライブへ寄付している。

無農薬野菜などを買える場所が増えるといいなと思う。また食の安全について学べる機会を設けてもらえるといいな。
食品ロスを防ぐため買いすぎないようにしたり、新鮮なうちに食べきるようにしている。1人ひとりがロスを意識して無駄のないよう子供達にもしっかりと伝えている。
食品の安全性をもっと分かりやすく伝えてもらえるといいと思う。（ポップやシールなどで） 農薬、添加物を使用したせいで体に蓄積され病気になったり、アレルギーが出ることはないのか不安がある。
地元のものは地元で消費する。安全性と新鮮度も考慮してみんなで助け合うのも食育に繋がるのでは無いか？
健康な身体を維持するために、安全な食生活は不可欠。最近は産地の他に、加工食品の中の含まれている原材料もとても気になる。
食育は生きていくうえでの基本。家族には特に朝ごはんをしっかりと食べてもらいたい。
私が子どもの頃のような厳しい完食指導はなくて、各々食べられるだけ食べることになっているようで、子どもの話によると、毎日の食べ残しはあるとのこと。厳しい完食指導は必要ないと思いますが、たくさんの食べ残しが出る状況が環境にも教育的にも決して良いとは思えず、どうにかできないのかな？と思っている。
子供の食育は将来の体、心の発達に非常に重要だと思う。
周りの市では無農薬野菜を使った給食に力を入れたりしているので、とてもいいなと思う。。無償化でとてもありがたいですが、できればそういった取り組みもしてもらえると嬉しいなと思う。
食育を通じて農業の街 安城市を守って欲しい。最近田んぼが工場に変わるケースが多い様に見受けられる。
スーパーなどで地元の郷土料理をアピールしていただけると認知度が上がるのではないかなと思う。
愛知県産や安城産の食材を使い、学校の給食に使って頂いている。学校以外でも、伝統的な郷土料理や美味しい食材が広まるとよいので、市内の飲食店と協力などが必要だと思う。
子供たちは給食等で安城の郷土料理を食べて知る機会があるが、地元出身ではない大人は全く知らない人が多いと思うので、大人に郷土料理を知ってもらう機会が増えると良い。地産地消の意識も高まるのではないかなと思う。
子供の頃から野菜作りや地元の畑に触れ合う機会があれば良い。小学校の畑も少なくなっているようですが、自分の子供たちも自分で参加して作ったお野菜を好きになった。
飽食の時代になり、食べる分だけ作る、注文するを徹底し、食品ロスや生ゴミを出さない事を徹底する事が必要。
農薬を使わない取り組みをして欲しい。農薬管理をしているのか厳重にチェックできるシステムを作って欲しい。
地元（あるいは国内）産だからといって遺伝子組み換えや農薬の心配がないわけではないので、自分から色々な情報を取りに行行って判断するようにしている。子どもの食育に関しては、エコきちでの料理の講座も役立っている。

子どもの食育イベントを開催してほしい。食肉に関してもやるべきだと思う。
今は食品も高いので、野菜や栄養バランスを考えて摂取するよりも安くお腹が膨れる物を摂取する方に専念している。栄養バランスは取れていない。食育までしっかり考えて食事できるようになると嬉しい。
今回のアンケートきっかけで、安城市の郷土料理がいくつもあるのを知った。どんな料理なのか知りたいので、広報にレシピなど載せると認知度向上につながるのではないかなと思う。
フードロスをなくす取り組みを考えていきたい。子ども食堂や飼料など。
SNS など情報がどこにいても、いつでも入手できるので知識は得ることができるけど、経験は実際に育てているところや収穫しているところを見たり、聞いたり、体験したりすることで、そこはなかなか自力では難しいので、子供限定ではなく市民に幅広く関わるイベントなどがあると参加しやすい。日にちや人数限定ではなく、この日程は見学できますよとかでもいいと思う。
安全で栄養のある地元のものが食べたいが、高くて買えない。結局、安いものを買って食べるしか選択肢がない。
野菜などを、育てる講座などが増えていて、良いかなと思う。自分で育て、収穫した野菜などは、野菜が苦手な子どもたちも食べやすいかなと思うので。
地産地消を意識して他県産と愛知県産があれば愛知県産を安城市産と市外産があれば安城市産を買うようにしている。
地産地消は価格とのバランスがなくては維持できない。高くてなかなか買えないので、主婦が手に取りやすい価格帯で販売されるよう市の補助を期待する。
このアンケートによって今まで以上に関心を持つようになった。安全安心できる食材を買い求めたいと思った。
食は生きる基本です。危ない物は自分で判断出来るようにしないといけないと思う。判断材料が必要ですし、自分自身に基準が要る。子供たちにも、危ない物はただ闇雲に遠ざけるのではなく自身で判断出来る力をつけてあげたいと思っている。
子育てをしている年代の人の食育を推進すべきかなと思う。出来合いのものを利用すると楽で料理をしなくなったり、調味料も調合してあるのを利用する傾向になりがちなので。
子どもに気軽に農業体験させてあげられるとよいかなと思うので、栽培キットの配布をお願いしたい。
生産者さん達の努力、輸送してくれる人々、販売店など、いろいろな人が関わって私達の食を支えてくれているという、食品の大切さ＝頂きます、を第一に学んで欲しいと思っています。また、農業は悪ではない、というのもしっかり学んで欲しい。